

令和4年度八町小学校の教育活動を振り返って（学校評価）

【自己評価と学校関係者評価】

校長の学校経営方針を受け、本年度の重点努力目標を4つの視点に分け、手だてを明確にして教育活動に取り組みました。11月に行った学校評価に向けた児童、保護者、教職員アンケートの結果に基づき、自己評価を実施し、教育活動の改善を図ってきました。

2月には、学校が提示した自己評価の結果について適切かどうかを学校評議員の皆様へ評価（学校関係者評価）していただきました。

三者の評価点を参考に課題や令和5年度に向けて改善策を考えます。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 体験を重視した主体的・対話的で深い学びの充実を図る。

評価項目	重点努力目標	自己評価	関係者評価
基礎学力の向上	・「読み、書き、計算」を中心に、子どもが自ら進んで学習に取り組めるように支援し、基礎基本の定着を図る。	A	A
主体的・対話的で深い学びの充実	・子どもの生活経験や実態を捉え、興味・関心に基づいた楽しく、わかりやすい授業づくりに取り組む。	A	
英語教育 国際理解教育	・これまでの教育実践の蓄積を生かし、授業、交流活動などの効果的な改善を図る。	B	

2 学級経営を基盤とし、自己肯定感・社会的スキルの向上をめざす。

評価項目	重点努力目標	自己評価	関係者評価
温かな学級集団づくり	・自己肯定感・社会的スキルの向上をめざし、いじめのない温かい学級づくりに取り組む。	A	B
道徳教育の推進	・道徳教育の充実と教師の指導技術の向上に努める。	B	
異年齢集団活動の活性化	・たてわり活動の精選と充実をし、達成感を味わうことのできる工夫をする。	A	

3 安全・安心な学校体制の整備と、教職員一人一人の危機管理や安全意識の高揚を図る。

評価項目	重点努力目標	自己評価	関係者評価
運動習慣・体力づくり	・年間を通して、体を動かし鍛える機会を教育課程に位置づけ、計画的に運用する。	A	B
子どもの安全意識の高揚	・子どもの安全意識の高揚を図り、事故やけがの防止に努める。	A	
より健やかで安全な生活習慣の確立	・「あしたもははは」や学級活動などの取り組みを通して、健康に留意した、規則正しい生活習慣の育成を図る。	B	

4 「学び続ける教師」をめざし、日々研修に努め、教師力向上を図る。

評価項目	重点努力目標	自己評価	関係者評価
教師の力量向上	・教職員研修の充実を努め、個々の力量・資質の向上を図る。	A	A
子どもの思いを大切に する教職員集団	・子ども一人一人に寄り添い、考えや思いを大切に する教育活動を推進する。	A	

○八町小自己評価の基準 A：十分に達成 B：概ね達成

学校関係者評価の基準 C：あまり達成されていない D：ほとんど達成されていない

【学校評議員（学校関係者評価委員）の皆様より（一部抜粋）】

- ・基礎学力の向上については、児童・保護者・教職員の三者とも向上しているとの評価を得ていることは素晴らしい。
- ・体験活動が多く実施されていることは、大変素晴らしいことと思う。児童もこのように多くの体験ができ、喜んでいる。
- ・通常の学級の児童がどれだけ英語に触れているのか、保護者への発信する努力が求められているように思う。
- ・いじめと道徳は密接な関係があると思われる。いじめの起きにくい集団づくりを心掛けていることがわかる。
- ・100%の児童が「学校が楽しい」となるよう、不満を一人でも抱いている児童の対応をお願いしたい。
- ・道徳教育は、他人を思いやる心、善悪の判断等、人格を作るうえで大切である。家庭の生活環境も大切である。
- ・たてわり活動は異学年で触れ合う、社会に出る練習と思う。これからも充実していただきたい。
- ・体を動かす機会をもっと増やしてほしい。水泳やクラブ活動の回数が少ない。
- ・いじめ、安全など命にかかわることは100%を常に目ざしたい。
- ・規則正しい生活について、児童、保護者の評価が低い。高学年になるほど、早寝早起きができなくなっている。
- ・2割を超える児童が相談できる先生がいないと回答している。他に相談できる場所があればよいと思う。



第46号
 令和5年3月15日発行
 豊橋市立八町小学校
 豊橋市八町通五丁目5
 TEL 52-1184

心づかせよう 四つの心の花

